

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
大井	1	円光寺と馬場にある用水路に汚泥や家庭の雑排水が溜まって悪臭がするので、流れるようにしてほしい。	農林水産整備課	(農林水産部長) 現地を確認のうえ検討します。
大井	2	領家から七重に行く市道で、路肩に落石が発生しているので、撤去をお願いしたい。	土木課	(土木建築部長) 現場を確認しているので、早急に対応できるようにします。
大井	3	下七重は湧水を水源としており、湧水の水源が止まることがあるため、新たな水源を確保してほしい。また、何故、水源が止まるのか専門機関からアドバイスをいただきたい。	環境衛生課	(市民部長) 萩市飲料水確保事業に基づき、補助金制度を設けているが、昔の制度のため補助対象が井戸を作った際の費用となっており、貯め柵やパイプ設備などは対象外となっています。他市の事例などを参考にしながら、どうにかできないか研究していきたいと思います。
大井	4	ツヤハダゴマダラカミキリによる被害が、林業などに及ぶ前に対策をしてほしい。	農政課	(農林水産部長) ゴマダラカミキリなどの松くい虫の研究や防除体系は確立されているが、まだ未知数の外来種に対する防除体系は確立されていません。県の関係機関と連携しながら、今後、研究をしていきたいです。
大井	5	移住者や高齢者が安心して暮らすことができるように、医療の充実に力を入れてほしい。	地域医療推進課	(副市長) 医師不足は全国的な問題となっており、萩市においても最大の課題のひとつです。医師派遣については、山口大学医学部等にご協力をいただいておりますが、医師が働きやすい医療現場・環境を整えるためにも、中核病院の形成を進め、萩医療圏の維持に努めてまいります。また、萩市は健診の受診率が低い傾向にあります。市民のみなさんに健診を適切に受けていただけますと、病気の予防や早期発見につながるとともに、医師の負担軽減にもつながります。ぜひ積極的に健診を受けていただきますようお願いいたします。
大井	6	コミュニティ交通「おーいでバス」の有償化に向けて、市の協力をお願いしたい。	商工振興課	(副市長) 有償運送に向けて協力をさせていただきます。また、利用者を増やすことが大事なので、例えば宣伝をするなど一緒に考えていきたいと思います。
大井	7	三見の駅舎を活用し、お試し暮らし住宅を設置したように、長門大井駅もお試し暮らし住宅を設置してほしい。	おいでませ、豊かな暮らし応援課	(副市長) 三見駅はJRから崩すという話があり無償で譲り受け、長門大井駅は今のところそういったお話はありません。しかし、どこかで駅舎ではなく活用できる空き家があるということであれば、移住者のお試し暮らし住宅に活用できないか考えていきたいと思います。そのため、大井の中でも活用できそうな空き家があれば、空き家バンクに情報提供いただきたいです。
大井	8	大井残土処分場が埋立てを始めて35年経ち、あと3年程度で埋まるので、早期に新しい処分場を整備してほしい。	林政課	(農林水産部長) 残土処分場は萩広域開発が運営をされており、定期的に萩市も地元の方と一緒に現場を確認し、施工運営を確認しています。設置から長い期間が経っており、市としても新しい残土処理場を整備することを内部で検討しているので、引き続きご支援、ご協力をお願いしたいです。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
三見	1	三見の自動車免許証を持たない高齢者では、バスセンターを出発する早朝など便に間に合わないので、改善してほしい。	商工振興課	(商工観光部長) JRや防長交通に今回の意見をお伝えします。市からJRや防長交通に補助金により支援をしていますが、便数は減少しています。現在、運転手が不足しているため、運転手の確保に向けた支援を検討していきたいと考えています。
三見	2	高齢者の運転マナーを向上してほしい。	市民活動推進課	(市民部長) 自動車学校での「シルバー安全運転コンテスト」などで、自身の運転マナーの確認をお願いしているところですが、改めて警察署と連携し、交通安全のマナー教室等ができるようにしたいと思います。また、市からも交通マナーが良くなるように情報発信をしていきたいと思っています。
三見	3	運転免許証を返納した人への割引等を充実してほしい。	市民活動推進課	(市民部長) 運転免許証を返納された方には運転免許証卒業制度というものがあり、タクシーに乗る際に1割引になるほか、買い物でも割引される店舗があります。市でも警察署とともにこういった割引ができないか相談しているところです。
三見	4	英語版の「おたからマップ」を作成してほしい。	まちじゅう博物館推進課	(商工観光部長) インバウンド対策として、英語版のパンフレットを作成しています。「おたからマップ」についても検討したいです。
三見	5	県道64号の明石から飯井までの道を拡張してほしい。	土木課	(土木建築部長) 引き続き、県へ要望していきます。
三見	6	飯井川上流を浚渫する時期を教えてください。	土木課 農林水産整備課	(土木建築部長) 上流側は令和6年度内に実施予定です。
三見	7	明石までいく旧県道(海岸線)の草刈りを市で実施していただいているが、もっとしてほしい。	土木課	(土木建築部長) 旧県道の維持管理については、市が管理をすることになっており、現在実施しているところです。木が大きくなって通行に支障をきたすこともあるので、道路交通を確保できるようにパトロールで注視し、実施していきます。
三見	8	市政報告会でスライド資料を配布してほしい。	広報課	(市長) 全20会場分の資料印刷費用を考慮し、スライド資料は配布していません。スライド掲載の事業情報は市報に掲載しているので、市報を見ていただきたいと思っています。
三見	9	三見での市政報告会は三見公民館で開催してほしい。	広報課	(市長) 昨年度の市政報告会は三見公民館で開催しましたが、浦地区の方で車がなく公民館まで来れない方が多いため、会場を変更させていただきました。次回の開催場所については、検討させていただきます。
三見	10	高齢者福祉に力強い支援をしてほしい。	高齢者支援課	(福祉部長) 高齢者福祉計画に基づき、住み慣れた地域で支え合いながら、すべての高齢者が安心して、自分らしくいきいきと暮らせるまちを目指していきます。市の公用車を利用した通所や訪問のお手伝いなど、引き続き支援をしていきたいと思っています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
山田	1	中核病院の形成がどういう状況か教えてほしい。両病院とも数十億の負債を抱えていることが問題と思うが、どういう状態なのか教えてほしい。	中核病院準備室	(保健部長) 協議中のため、詳細をお話しすることはできませんが、萩市と都志見病院が一つの病院となり、地域の核となる病院を目指すことについては双方合意しています。しかしながら、近年の医師の働き方改革や医療人材の不足、物価高騰など大変厳しい状況などもあり、最終的な合意ができていないということです。市としては、将来的にわたって、救急や地域に必要な医療は堅持していかなければならないと考えています。
山田	2	百条委員会について、同じ質問ばかりなので、効率よくやってほしい。	—	(副市長) 百条委員会は市議会が行っているため、私どもが意見を述べることはできないが、市長としても百条委員会において、しっかり答弁するように努めています。
山田	3	「まあーるバス」のルートを改良してほしい。	商工振興課	(商工観光部長) 「まあーるバス」の現在のルートは、令和4年10月に改定し2年経とうとしています。使いやすくなった、使いにくくなったという意見をいただいておりますが、ルートについては、交通会議の中で決めており、皆さんの意見をお伺いし、使いやすくなるように改善をしたいと思っております。現在、市としては新ルートの定着化を推進しており、年数が経てば様々な意見が出てくると思うので、それらを反映できるようにルート変更をしていきたいと思っております。ルート変更の際には、国への申請が必要なため、すぐには変更できませんが、アンケート等も実施してルート変更を検討していきたいと思っております。
山田	4	海から逆流したゴミが側溝内に溜まらないようにしてほしい。	農林水産整備課	(副市長) 現場を確認のうえ、対応させていただきます。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
越ヶ浜	1	河川海岸一斉清掃の前に、「嫁泣き公園」の木の伐採とゴミの撤去をお願いしましたが、ゴミがまだ残っているので、早々に撤去をお願いしたい。また、側溝清掃がまだされていないので、県の水産課へお願いしてほしい。	農林水産整備課	(農林水産部長) ゴミの処理については、現地を確認のうえ対応させていただきます。また、側溝清掃については、県で予算の範囲内で今年度実施しています。来年度以降も引き続き要望していきます。
越ヶ浜	2	明神池北側にある遊歩道の通行止めを解除してほしい。	観光課	(商工観光部長) 落石防止のために通行止めにしてしており、これまでの議会等でも質問があり、落石防止工事に該当する国の補助メニューを探したうえで検討すると回答させていただいています。落石は平成18年と19年の2回あり通行止めとなっており、その後、平成23年の落石防止工事の協議のうえ見積を取得したが、工事費用が高額のため、国の費用等を財源として探すも、様々な交付金に該当せず、現状に至っています。しかしながら、引き続き、該当する補助メニューを探し、進展があった際にはご連絡させていただきます。
越ヶ浜	3	越ヶ浜介護予防センターのあたりで道路が陥没しているので修繕してほしい。	文化財保護課	(商工観光部長) 現地を確認したところ、深く陥没しているため応急処置を行う予定です。令和7年度予算で、改めて検討します。
越ヶ浜	4	山陰道について、中小畑のカーブと大井橋で、大型トラックとすれ違う際に怖い思いをする。また、事故があった際は渋滞するので、救急車や消防車が通れないことになるかもしれない。	土木課	(土木建築部長) 萩から大井までの事業区間は令和3年度に事業化となり、ご指摘のあった箇所などは事故等が多数あった危険箇所であることから、優先的な整備区間としてあげられました。今年度も国土交通省に対し、山陰道の早期開通を要望してきたところです。1年でも早く開通できるように、引き続き、市民の方からも声をあげてほしいです。
越ヶ浜	5	虎ヶ崎でもキジハタの稚魚の放流をしてほしい。	水産課	(農林水産部長) キジハタなどの単価が高い魚種については、稚魚の放流場所を実施しています。県の水産事務所とともに過去の実績や漁師の方のお話を聞きながら放流場所は選定していますが、皆さんのご意見も広く集めながら、より効果的な放流に繋がるように研究していきたいと思います。
越ヶ浜	6	萩市でフグの調理師免許試験を受験できるようにしてほしい。	水産課	(市長) 最終的には免許状を交付している県と協議をする必要がありますが、萩市でも試験が受けられるように、市でも協議をしていきます。 (農林水産部長) これまで免許取得にあたり、都道府県ごとに条件のばらつきがありましたが、令和4年度から3年の実務経験という条件が緩和され、山口県においては年齢要件もなくなりました。そのため、やる気があれば経歴・年齢を問わず受験できるので、萩市でも受験できるように県に要望をしていきたいと思います。
越ヶ浜	7	教育の場で、子どもにフグの調理師免許を取るようにしてほしい。	学校教育課	(教育長) 教育の分野ではまず、魚に親しむことから始めていくことが大切だと思います。大島中学校では、海の幸体験学習というもの実施しており、今年度は三見中学校の生徒も全員参加し、魚を網で獲り、捌くところまでやっています。このような体験をしながら、自分の将来の生き方を決める時に、フグの調理師も選択肢のひとつにあると思うので、段階を踏まえながら、興味関心がある子は伸ばしてあげたいと思います。
越ヶ浜	8	萩焼を使い、フグ刺を盛り付けるなどフグをPRしてほしい。	商工振興課 水産課	(商工観光部長) 「桜ふぐ(マフグ)」においては、市内の協力飲食店でなるべく萩焼を使って料理を提供いただくようにしているほか、萩焼まつりでは、萩焼で料理を食べることができる店舗を紹介していますので、今後も積極的にPRしていきたいと思います。
越ヶ浜	9	フグ刺専用のネギを萩市の料理屋で利用してほしい。	農政課 水産課	(農林水産部長) 萩市ではネギの産地としての歴史はあまりなく、これまでアオネギをメインでやってこられ、最近ではシロネギの取組がでてきたようです。昨年、萩市ではマフグを「桜ふぐ」とキャッチフレーズをつけて、市内の飲食店に協力してもらい取り組んでいます。こういった方たちへ小ネギの需要と供給を確認しながら、生産者と飲食店などによる話し合いの場をもっていきたいと思っています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質 問 内 容	所 管 部 署	答 弁 内 容
椿	1	萩市長選において、前任者が再選した場合も、出産祝金をなくしてほしくない。市議会で、給食費の無償化は公平性が保たれるのか、という議論があったが、全国的に無償化が進んでいるため、市もこのまま続けてほしい。	子育て支援課 教育政策課	(副市長) 人口減少を解決しないと、萩市の将来は厳しいと考えています。お金をかけることに対し様々な議論はありますが、大切なことだとしっかり説明し、今後も施策を続けていきたいと思っています。
椿	2	令和5年度の出生数は135人しかいない。萩市の人口構成は、20～30代の、子どもを生み育てる世代が少ない。引き続き、移住を増やすための施策に力を入れてほしい。	おいでませ、豊かな暮らし応援課	(副市長) 20～30代の方々が少ないということが子どもの数が少ない原因の一つです。移住施策をしっかりと行い、若い世代を増やしていきたいと思っています。若い人が移り住むには、空き家バンクに住宅を登録するだけでなく、働く場を作らなければならないので、引き続き尽力したいと思います。
椿	3	小郡萩道路の別線バイパスについて。能登半島地震を受け、石川県では、高速道路以外は通ることができなかったようだ。明木から萩間も、現在の道路では、同等の災害が起きた際に通れなくなるだろう。緊急車両の通行も、高速道路の方が便利だと思う。	土木課	(副市長) 災害が起きると大変なことになるということは十分認識しています。今後も整備に関する要望を続けていきます。
椿	4	中核病院について、前市長時代には、他の市に行かなくても、市内だけで完結するという話があった。議会においても、三次救急、二次救急などの難しい言葉は避けて、現状で目指すべきところを市民に向けて発信してほしい。前市長時代に作られた中核病院のQ&Aで、基本合意するにあたって、借金を0にしてスタートするとあったが、その後どうか。中核病院特別委員会でも、都志見病院側に基本合意にあたって何が不足しているのかを聞いてほしい。	中核病院準備室	(副市長) 令和6年4月に萩市ホームページにおいて、萩医療圏が目指す中核病院づくりについて掲載しています。こちらの中で、萩医療圏に必要なもの、中核病院が必要な理由について説明しており、今後も不定期で掲載する予定です。なぜ基本合意に至っていないのかについては、協議中のため、この場で詳細をお話しすることはできません。今後も、市と相手方の医療法人で基本合意に向け協議を進めていきたいと思っています。
椿	5	百条委員会では、同じことの繰り返しで、何を言っているのか分からない。経費もかかるので、やめてほしい。百条委員会にかけるような内容ではなく、全員協議会で協議する内容だと思う。	—	(副市長) 百条委員会は議会において設置されています。本日、議員の方も多くいらっしゃるので、お持ち帰りいただき、議論していただけたらと思います。
椿	6	中核病院づくりを一刻も早く進めてほしい。	中核病院準備室	(副市長) 一刻も早くという皆様のお気持ちは十分承知しており、早く良い報告をしたいと思っています。市民病院、都志見病院のように二次医療を担う病院は、全国的にも医師の確保が難しくなっています。それを解決するために、中核病院をつくり、萩医療圏である程度の医療は完結できるよう、今後も努力してまいります。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
相島	1	西山農道の一部区間に段差ができており、農業用車両の通行に支障が生じている。また、当該農道部分の底部は土砂で、その上に石垣が組まれている。その土砂部分が降雨等により一部流出しており石垣崩落の可能性がある。当該道路は、迂回路がないため、土砂流出の発生を抑え、石垣崩落を防止する対策を講じてほしい。また、受益者となる人間も減っており、個々に負担を求めることは難しい。	農林水産整備課	(農林水産部長) 相島地域では、国の交付金を積極的に活用しています。高齢化により、事業の取組が中断されていますが、交付金があれば、皆様の合意に基づいて、制限なしに色々な取組ができます。規模を縮小して、交付金の再開を検討していただきたいと思います。また、少額ではありますが、萩市の単独の補助事業もあり、単年度での工事費の確保が難しい場合は、複数年度にわたり実施することもできるので、検討していただきたいです。
相島	2	波除堤の工事完成により南及び南西の風による波は軽減されたが、依然として北波からのうねりは港内に入り込んでいる。これにより、定期船の停泊が困難となっている。春先には、海上は穏やかになったものの、連続三日間の欠航が続いた。新たに消波ブロックを設置するなど、港内の改修を検討してほしい。	農林水産整備課	(農林水産部長) 工事費がかなり高額になり、国の補助金を活用しないと難しい状況です。欠航回数などを調査し、改修に向け、こういった事業が効率的か検討していきたいと思います。
相島	3	可動橋の後ろの崩落防止フェンスについて、今回どのようなフェンスが作られるのか。かなり大きい石が崩落しており、普通のフェンスでは耐えられないのではないかと思います。	農林水産整備課	(農林水産部長) 木柵でという話もありましたが、ある程度強度のある金属製のフェンスに変更して、設計施工を予定しています。通常の雨量で、市道付近から落ちてくるものを受け止められる想定で進めています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
大島	1	一昨日、ドクターヘリの臨時ヘリポートまでストレッチャーで急患を運ぶ際に、道が悪く患者に衝撃を与えてしまい大変申し訳なく思った。ドクターヘリのヘリポートまでの道路を補修してもらえないか検討してほしい。	農林水産整備課	(市長) 現地を確認のうえ、可能な限り早く対応したいと思います。
大島	2	「はぎおおしま」のドック時に、車を乗せることができる「あいしま」を利用させてほしい。	商工振興課	(商工観光部長) 10月からのドック時に「あいしま」を大島航路に利用することを決定しています。近々、萩海運から発表があります。
大島	3	公用車の軽自動車（バン）を、通所型サービスで利用したい。乗用車タイプでは道が狭いので軽自動車にしてほしい。	福祉政策課	(福祉部長) 各地域に車は1台と決まっていますが、軽自動車の配置について検討させていただきたいと思います。
大島	4	車いすを新しくしてもらったが、ブレーキがなく危険なため、ブレーキがあるものに変えてほしい。	福祉政策課	(福祉部長) 現在所有する車いすを確認して、ブレーキがあるものがあれば提供させていただきたいと思います。
大島	5	若い人が楽しめる萩市にしてほしい。また若い人に働き口がないから高齢者が働かざるをえない、人口が減り少子高齢化の状況を変えるにはもっと斬新な考え方で税金を使ってほしい。	—	(市長) 現在、萩市は若い人の就職先が多くありますので、働き口を探している若者がいれば、就職先をご紹介させていただきます。
大島	6	タラップ接地面の段差を補修してほしい。亀裂についても年々大きくなっている。	農林水産整備課	(農林水産部長) 引き続き、補修工事を進めていきます。
大島	7	港湾道路の段差の舗装を整備してほしい。赤穂瀬先地区長浜ふれあいセンター付近と給油所油タンク付近の港湾道路は交通量も多く、散歩される方も多いので危険である。段差の舗装をしてもらえると助かる。	農林水産整備課	
大島	8	赤穂瀬先地区に緑地公園があり子どもたちが遊んでいる。すぐそばが道路なので通行する車も注意しながら運転はしているが、危険なためフェンス等の安全対策をお願いしたい。	農林水産整備課	(農林水産部長) フェンスもいろんなタイプや規格があるので、漁協や町内会の皆さんにご意見をいただいて予算を確保していきたいと思います。その際には、ご協力をお願いいたします。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
見島	1	見島分屯基地があることによる防衛省から萩市への補助金がどのくらい支給されているか教えてほしい。	課税課	(総務部長) 年によって異なりますが、演習場があるむつみと見島を合わせて、基地交付金として約1,700万円～約1,800万円ほどです。
見島	2	子どもの海水浴場を作ってほしい。現在、自衛隊のところで工事をしているので、その廃材を埋めて作ってはどうか。	農林水産整備課	(農林水産部長) 見島全体の漁港や周辺については、山口県が管理をしています。海水浴場を整備する要望にあたり、瓦礫の運用については難しい面もあると思いますが、地域の活性化や交流人口・定住人口を受け止められる施設がないと見島の発展も期待ができないと思うので、山口県の事業計画等と整合性を図りながら、山口県へ要望をしていきたいと思っています。
見島	3	見島診療所と宇津診療所に自動ドアを設置してほしい。	地域医療推進課	(保健部長) 現在の見島診療所のドアは、2010年に設置されたアルミ冊子のかなり重たいドアであり、高齢の方には開けることが困難なこともあると思います。内部で検討をしていますが、建設費の高騰もあり、自動ドアの設置に概算で1,000万円程度かかる見込みです。また、敷地が狭いということ、入口が1つしかないため工事をする際は出入口が使用できなくなります。実施については、事業費も踏まえながら内部で検討させていただきたいと思っています。なお、宇津分室については、現在のドアは軽く開け易いものとなっているため、ご了承いただきたいと思っています。
見島	4	見島診療所に自動ドアを設置してほしい。	地域医療推進課	
見島	5	離島での子どもにかかる費用は当然高いので、小中学生とその保護者の船賃を無料にできないか。	商工振興課	(商工観光部長) 見島は特定有人国境離島ということで、国からの交付金により島民の方を対象に運賃は平成29年4月から低廉化し約半額としています。子どもたちのための船賃の無料化は、これからの検討課題にしていきたいと思っています。
見島	6	新規就農を志す方への説明会で見島の紹介はされているのか教えてほしい。	農政課	(農林水産部長) 就農ガイダンスを県内および首都圏、大阪で開催していますが、結果としては本土を中心とした就農に偏っています。離島での新規就農者は厳しい状況ではありますが、島にゆかりがある方をはじめ、積極的に紹介しています。
見島	7	見島は離島の中でも特定国境離島で、航空自衛隊の分屯基地もある全国でも数少ない島である。島に住む園児から中学生まで「特別子ども手当・特別家族手当」を支給してほしい。	子育て支援課	(市長) 離島に限らず萩市においては、多子世帯への支援や給食費の無償化、妊婦への支援など、様々な支援を実施しています。見島は特定有人国境離島ということで、見島だけへの支援をしたいところではあるが、「特別子ども手当・特別家族手当」までは達していないという状況です。見島においては、道路や住宅などでかなりの額を支援しているものの、国境離島は国の制度であるので、萩市だけでの実施は難しいですが、今後、子育て支援についても検討をしていきたいと思っています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質 問 内 容	所 管 部 署	答 弁 内 容
見島	8	海岸に流木がたくさんあるので、防衛省からの補助金で流木を処理してほしい。	環境衛生課	<p>(総務部長) 国からの基地交付金は、補助金という性格ではなく、基地等にかかる固定資産税に相当する額として各市町村に交付されています。交付金の使用方法について制限があるわけではありませんが、離島に対する補助等もある中で、こういった交付金も一部使いながら使用しています。例えば、市が施設を整備する中で、国へ申請し防衛省の補助金をもらえるようなものもあります。そういった助成もあるので、それぞれの事業を実施する中で対応し予算を検討していきたいと思います。</p> <p>(市民部長) 海岸に漂着した流木について、場所を確認のうえ検討していきたいと思います。毎年、環境衛生課では海岸クリーンアップにより砂浜の清掃を実施しているが、人が歩くことが困難な場所で、流木の回収や焼却ができないか検討していきたいです。ただし、廃棄物の焼却は法律で禁じられていますが、状況によってはやむを得ない場合もあると思うので、引き続き、検討していきたいと思います。</p>
見島	9	見島小中学校のプールを、膝くらいまでの水位で保護者が見守るようにして、お盆に帰ってくる子どもたちに使用させてほしい。	教育政策課	<p>(教育長) 水位を低くしてプールを使用することは可能だと思いますが、学校を交えてどういう利用をご希望されているかなど聞き取りをしたうえで、検討していきたいと思います。</p>
見島	10	定期船がエンジントラブルで欠航した際に、他の島で使用している定期船のダイヤを調整し対応してほしい。	商工振興課	<p>(商工観光部長) 欠航のパターンとして、天候不順、ドッグ入り、故障の3つがあると思います。天候不順については、安全運航面を考慮し萩海運で欠航を決定しており、ドッグ入りの際は事前に日程を把握している場合は、「はぎおおしま」と「あいしま」の2隻と代船1隻を用意し、三島の航路運行がスムーズに進められるようにダイヤ変更をしています。ダイヤ変更については、事前に国に対して運行計画書を提出し許可を受けることで、実現できていると萩海運から聞いていますが、突発的に「ゆりや」が故障した場合には、できる限り短時間で修理に対応できるようにしているほか、全ての部品ではないが、過去のトラブルにおいて壊れやすい箇所や部品を、造船所や修理メーカー等にストックしておき、可能な限り迅速に修理ができるようにしています。一定期間、修理が必要な場合は、急な代船調達や「はぎおおしま」や「あいしま」による見島航路の運航は、三島の航路運行を考えながら、大島・相島の両航路、利用者との調整に時間を要することが想定されるため、現実的には困難であると萩海運から聞いていますが、いずれにしても「ゆりや」の突発的な故障対応について、あらゆる方面から最適な手法を検討、追及するように萩市としても萩海運へ伝えていきたいと思います。</p>

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
川内	1	ボーリング場跡地に温泉施設を作ってほしい。	—	(副市長) 民間の土地であるため、市で何かつくるとするのは難しいです。民間企業が進出する際は市に情報が入ってくると思いますが、今のところは何も聞いておりません。
川内	2	高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種について、今までのワクチンで、接種後に亡くなられた方が萩市にいる。その後、危なく進化したと言われている新たなワクチンを、10月からの定期接種で使用できるということだが、日本看護倫理学会というところからも危ないという声明が出されている。今回危ないとされているレプリコンワクチンコストは、アメリカの製薬会社を作って、アメリカでも承認されておらず、ベトナムで治験し何名か死亡していることや、日本が世界で唯一このワクチンを承認しているという事実などのリスクと、メリットの両方を市民に広く開示してほしい。	健康増進課	(保健部長) この度、厚生労働省から新たに5社のワクチンの認可が下りました。高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種は定期接種であり、2023年まで実施したワクチン接種の枠組みとは異なり、各医療機関で予約をしていただき接種を受けていただくこととなります。市ではワクチン接種にあたり、高熱などの副反応があるため、ご本人の意思に基づいて接種いただくようお願いをしていますが、今回、国が新たに認可したワクチンは、ご指摘のように他国では認可が下りていないワクチンもあります。10月から始まるワクチン接種については、可能な限りホームページなどでご案内していきたいと思っております。
川内	3	オーガニック給食を取り入れてほしい。	教育政策課	(農林水産部長) 萩市は従来、化学肥料や農薬を使った慣行農業をメインに推進し、環境に配慮した有機農業は、なかなか取り組んでいなかった状況です。しかしながら、今年度から環境保全型農業、環境に配慮した農業、有機農業の取り組みについて、萩市としてどのように関わっていけばよいか、生産者の方や消費者の方との検討会を今年の夏からはじめたところです。有機米のような身体に良いものを求めやすい価格で提供できるか、生産者の方たちと今後の課題として検討していきたいと思っております。
			農政課	
川内	4	萩市で婚活事業などしているのか教えてほしい。	企画政策課	(総合政策部長) 萩市では人口減少が著しく、若い方の移住や定住を進めています。その中で婚活については、北浦三市では共通の課題を抱えていることから、萩市・長門市・美祢市で共同して、結婚相談所のようなものを開設し、結婚相談やマッチング、婚活イベントなどを開催しています。今後も広報紙などで周知していきますので、ぜひご近所の方などへPRしてほしいと思っております。
川内	5	農業が衰退しているので、市、県がもっと補助をしなければならないと思う。	農政課	(農林水産部長) 国県の補助事業を導入しつつ、萩市独自の補助事業も実施しています。今後も農地の維持・発展をされる方に対し補助を用意していきます。
川内	6	萩市はこれから観光ではなく、工業国にした方が良い。指月公園に巨大なホテルなどを誘致してはどうか。	—	(市長) 外国人観光客にアンケートを実施したところ、萩の世界遺産を目的に訪れています。歴史的な物は残っていないといけなないので、指月公園周辺にホテルを建設することは困難なため、他の場所へ誘致していきたいと思っております。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
木間	1	不感地帯での衛星利用はいつから始まるか。	情報政策課	(総合政策部長) 携帯キャリアを訪問した際の会議で、中山間地域でアンテナを設置する方法では採算があわないと聞いておりましたが、2026年度(令和8年度)内に、衛星とスマートフォンの通信を始めたいという情報を聞いています。
木間	2	国道490号の早期整備を要望してほしい。	土木課	(土木建築部長) 今年も県の事業説明の中で、国道490号の予算を用意されています。なるべく早く事業の着手ができるように県へ市からも要望をしていきます。
木間	3	県道308号に浸水防止と車が離合できるように側溝を整備してほしい。	土木課	(土木建築部長) 県道については、県が単独事業でやっている区間と認識していますが、詳細な場所を改めて確認のうえ県へ伝えていきたいと思えます。
木間	4	県道308号に旧道との取り合いの箇所がある。改良された箇所と旧道で段差やカーブがあり、いびつな状態になっているので、車が通行・離合できる線形にしてほしい。	土木課	
木間	5	農業関連の施策を教えてください。	農政課	(農林水産部長) 項目として、担い手対策、作物振興などの農地の保全、畜産の振興、有害鳥獣対策といったように項目立てて取り組んでいます。特に担い手対策については、新規就農にあたり研修中に研修費をお支払いしたり、研修後の収入が安定しない時期に人件費的なものを支給する事業もあります。また、担い手問題は、個人だけでなく法人組織も高齢化しているので、法人に直接、ガイダンスに出向いていただき、求める担い手を募集するような事業も今年度から新たにはじめています。その他にも事業はありますが、その都度、ご説明させていただきます。
木間	6	木間体育館のように、避難所である木間活性化センターにもWi-Fiを整備してほしい。	農政課	(農林水産部長) 木間活性化センターは、農産物の生産だけではなく加工をして地域に経済として根付かせようと、この地域に整備した施設です。木間活性化センターは、隣に公会堂のような公共施設的な用途をあわせ持っており、通信設備は、固定電話しかないと思えますが、前向きに検討していきたいと思えます。
			防災危機管理課	(総務部長) Wi-Fiを整備した木間体育館のみならず、他の地域も含め公民館等の職員が常駐し既にネットワークが整備されている施設を中心に、補助事業を活用しWi-Fiを整備させていただきました。木間活性化センターは、補助事業の要件に合致していなかったため、現在、Wi-Fiが整備されていない状況ではありますが、土砂災害の恐れがある場合には木間活性化センターを活用しているということ、尚且つ携帯電話が繋がらない状況にあり、緊急の連絡が取りにくいということで、施設を管理している農政課と協議しながら検討していきたいと思えます。
木間	7	グラウンドにある防災無線のスピーカーが聞き取れないので、地域全体に知らせることができる設備を検討してほしい。	防災危機管理課	(総務部長) 防災行政無線については、令和6年度中にデジタル防災行政無線の整備が終了しようとしています。終了後は、市内全域が防災行政無線のリニューアルを終えたことになり、費用対効果を考慮のうえ、各戸が点在している旧町村においては、屋外スピーカーと各戸に戸別受信機を配布し、旧萩においては屋外スピーカーで対応しています。旧町村と同じように家が点在している木間地区では、お聞きした状況としては戸別受信機の方が良いと思っているが、屋外スピーカーの設置と各戸に戸別受信機を配布する費用を比較しながら、整備方針を作成し、これから検討するようにしていきます。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
木間	8	木間地区社協で使用している支援車両の使用方法を拡大してほしい。	高齢者支援課	(福祉部長) 生活支援車両は、住民主体の活動支援のために公用車を無償でお貸ししているところです。木間においては、「サロン農家の休日」や「フレンドリールーム」などのデイサービス関係を地区社協にお願いしており、大変助かっています。ご質問のあった公用車を選挙の投票や集団検診、避難所への移動、地域行事などでの使用できないかということで、私どもも公用車の使用にあたっては、事故等の問題もあるが、燃料や保険などの問題もあるので、どのようにしたら使用できるか、使用できる方向で調整していきたいと考えています。
木間	9	木間分室について、テントや運動道具を入れている体育倉庫の屋根に穴が空いているので、早急に対応を検討してもらいたい。	文化・生涯学習課	(教育長) 本日、体育倉庫の屋根を実際に確認したところ、テントや綱引きの綱もあり、雨に濡れると腐ったりするので、早急に対応したいと思います。
木間	10	木間分室の屋根裏や体育館裏に動物が出るのでどうにかしてほしい。	文化・生涯学習課	(教育長) 屋根裏に一箇所穴が空いており、おそらくそこから侵入しているのではないかと考えられます。空いているところを塞ぎ、様子を見たいと思います。
木間	11	木間分室の6年生教室の床が傾いているので、改修を検討いただきたい。	文化・生涯学習課	(教育長) 実際に教室へ行ってみると、窓側の方が傾いており、昔、物が置いてあったのが原因ではないかと思えます。また、職員室も傾きがあるようで、座っているとめまいがするという事も聞いていますので、あわせてどのようなことができるか考えていきたいと思えます。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
椿東	1	公共下水を観光地でもある椿東にも整備してほしい。せめて松陰神社前だけでも整備するべきである。	下水道建設課	(上下水道局長) 公共下水道の事業については、萩市の都合ではなく国の方針に則って全国的に令和8年度までに概ね完成するようになっており、区域を縮小させていただいて工事を進めています。令和2年には地元説明会等を実施し、住民の方にはご理解いただいているものと思っています。縮小された区域は、椿東だけではなく、椿や山田の一部などの公共下水道を整備する予定だった区域を縮小し、令和8年度の完成を目指して工事を進めているところですので、ご理解のほどお願いします。
椿東	2	無田ヶ原口の市営住宅について、令和3年の7月に入居者が亡くなられ、空き室になっているが、家族が市内にいるにも関わらず、荷物がそのままになっている。市の建築課にも言ったが、荷物はそのままになっている。共益費も収められていないので、2年分ほど管理人に持って来るように言い、2023年12月に退去すると市職員から聞いたが、いまだにそのままの状態になっている。そして、改めて建築課に聞いたところ、2024年9月に退去すると聞いたが、10月になりいつ出ていくか分からない状態で3年が経っているので、早急に退去してほしい。	建築課	(土木建築部長) 担当者が家族に文書や電話で連絡をしていますが、なかなか進んでいない状況です。9月末までに退去いただくように本人に通知していますが、直接ご自宅に伺うなど引き続き指導をしていきたいと思っています。
椿東	3	市営住宅で無田ヶ原口が一番新しく、入りたい人が多くいる。空き部屋があるので、募集をかけ住宅を有効活用してほしい。	建築課	(土木建築部長) 姉妹都市輪島市の被災者を受け入れるために部屋を確保していた経緯もありましたが、利用があまりないようなので、空き部屋について積極的に市民の皆さんに入居いただけるように募集していきたいと思っています。
椿東	4	上野バイパスについて、いまだに進展していないので、県へ優先順位を高くして要望してほしい。	土木課	(土木建築部長) 毎年、県へ要望しているところですが、事業化に至っていないため、引き続き要望していきたいと思っています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質 問 内 容	所 管 部 署	答 弁 内 容
川上	1	市道舟戸小郷線は、長谷地区から通行止めになっているが、なぜ通行止めになって長い間ほったらかしになっているのか戸別放送や広報紙等で対応について知らせてほしい。	川上総合事務所	(川上総合事務所長) 令和6年3月28日に倒木、落石があり、直ちに倒木、落石処理をしました。その状況で通行可能の判断ができると思いましたが、現場の10m、20m以上の高台のところに2m前後の大小の岩が点在しており、通行可能にすることは危険だと判断し、再度調査をして抜本的な方法を検討して今後の対応を進めています。検討の結果はお知らせするので、県道を利用して迂回をお願いします。
川上	2	高齢化に伴い農地が荒れてきているが、荒廃農地についてどのように対応していくのか教えてほしい。草刈りすらできない農地の対応策として草刈りをすれば油代を出す等の方向性を示してほしい。また、中山間地の農地は今後どう考えているのか。	農政課	(農林水産部長) 市としては、法人同士で連携されてはどうかと提案させていただいています。市の5つのエリアの法人が協定を結んで弱い部分をお互いで助け合い、その中で足りないものを共有し話し合う取り組みを始めています。また、個人の新規就農者ややる気のある方にいろんな補助制度を用意しています。来年度から中山間地域の交付金事業が新たに始まるので、地域計画をそれぞれの集落の担当者が作成し、課題を浮き上がらせていただいて皆で共有し連携しようと考えています。また、市としては都市部からの移住施策として専業農家だけではなく、移住者や兼業農家を希望する方を呼び込むことも考えており、色々なケースで農業に関心のある移住者を募集していく予定です。
川上	3	白上地区は、法人が撤退して農地が荒れ放題になっているが、利活用について市ではどのような考えがあるのか教えてほしい。所有者の意向もあるが若者の定住に雇用の場が必要なため、萩小郡道路も順次開通し流通の面も改善されると思うので、あの一帯を工場誘致適地に指定し、工場誘致の推進を図るような活用方法等の対策をしてほしい。	企業誘致推進課	(副市長) 現在、白上地区の開発計画は市ではありませんが、工場が拡大をする場合の土地利用に対しては審査等があるため、個別に対応したいと思います。各総合事務所単位で、地元の方が地域振興のために地域事業懇話会を作り、そこで出たアイデアを市の事業として取り上げていこうとしています。以前からやっておりましたが、川上地域でも地元の方のご意見をもとに、新年度予算要求を検討しているところです。市でも工場誘致は対応していきたいと思っていますが、地元で何かされたい場合は地域事業懇話会でご意見をください。
川上	4	現在、長門峡へのルートには樹木が覆いかぶさって道路の維持管理ができていない。10月に県に9号線から長門峡龍宮淵までの道路沿いの木を切ってもらい篠目駅から長門峡竜宮淵までは何とか観光バスが通れる状態になったが萩方面のルートは伐採されていない状況である。長門峡以外でも樹木が道路に覆いかぶさり、通りにくくなっているのを市から県に言ってほしい。	土木課	(土木建築部長) 毎年、萩市からも県に対して高木処理や草刈り等を含めて道路維持の要望をしています。今年度も除雪等のため要望する予定です。今回の件についても、これまで以上に県に地域の意見を述べていきたいと思えます。
			観光課	(商工観光部長) 県道萩川上線について、観光の観点から観光協会と観光課で県土木にも要望しています。道路を持続的に維持管理することは、極めて重要課題であるため、県が管理している県道は幹線道路となっている重要路線です。交通量が多い観光シーズンは、通行の支障とならないように草木の伐採と除草作業、計画的な支障木の伐採を実施してほしいと、今年9月にも要望しています。実際に現場の写真を撮影し、17カ所ほど危ない所がありましたので、県に提示をしています。県からはすぐには全てできないが、市が選んだ場所を優先的に伐採作業していくと回答を受けています。
川上	5	整備してもらったLEDですが、いつの間にかツタが巻きつき照明が真っ暗になっているため、ツタの除去をしてほしい。	川上総合事務所	(副市長) LEDの件は、早急に確認のうえ対応させていただきたいです。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
江崎	1	市内に小児科、産婦人科が少ないので、中核病院のような総合的な病院があると安心安全に出産、育児ができると思う。今の若い人は、個人病院では納得しない人もいる。人口減少が問題なのであれば、早急に中核病院なり総合病院の準備を進めてほしい。また、救急車を呼んでも、来るのは早いですが、搬送開始までに20～30分ほどかかることもある。それを緩和するために、大事な命が守れるよう、しっかり病院を整備して、安全に過ごせる体制をとってほしい。	中核病院準備室	(保健部長) 中核病院について、早期に実現させたいという思いで協議を進めていますので、ご理解いただきたいと思います。分娩施設については、市内に民間のクリニックが1つありますが、全国的にも産科医の確保が難しくなっています。一番大きな要因としては、医師の働き方改革として、年間の労働時間を厳しく制限される時代になっているということがあります。分娩施設となると、24時間の対応が必要であり、少なくとも3人の産科医を配置しなければなりません。全国的にも産科医が不足している中、大学からの医師派遣を含め、必要な医師を確保することは非常に難しい状況です。市としては、分娩ができる唯一のクリニックには頑張りたいとお願ひしています。中核病院内への分娩施設の設置は非常に難しく、将来的な課題になると思います。市内に分娩施設は維持してかなければならないと考えています。
江崎	2	見島の定住住宅について、市では約1億1,000万と積算されており、一棟あたり2,500万円ほどになる。建物が1,100万円、運搬・宿泊などその他経費だけで約1,500万円近い当初予算となっていたが、本当にそれほどかかるのか。また、過去の入札で辞退した業者をなぜまた入れるのか。さらに金額が上がっているが、なぜ執行部が業者に歩み寄って金額を上げないといけないのか。他に頑張っておられる業者もあるので、Aクラスの業者しか入札に参加できないなどとこだわらなければ、1億円もあれば余るくらいの金額だと思う。入札時期についても、1月の最もしける時期にする必要もなく、春先まで延ばせば、経費的にも工期的にも折り合う問題なのではないか。また、同じものを4つ建てるので、材料のロスも出にくいことを考慮するとここまで高くはないと思うが、まともに計算できているのか。近辺の地域の相場もそれほど高いのか。公共工事だからと言って上乗せを繰り返すのはいかがなものか。これまでの入札をみると、初めから不参加という業者は次の入札に参加できないのではないか。	おいでませ、豊かな暮らし応援課	(総合政策部長) 全国的に物価が高騰しており、建築においても資材単価が高騰しています。また、設備関係は輸入品が多いため、円安の影響もあります。人材不足や高齢化の問題で人件費が年々上昇しており、国が示す公共工事の単価は、15年前と比べて人件費が75%上がっています。また、離島での工事は島内に業者がなくなってきており、本土から資材を運び、業者の方に泊まっただくことになるため、輸送、宿泊、旅費で、20%あまりの経費となります。業者の選定については、改めて設計、入札を行うにあたり、検討しているところです。建築工事の設計は、建築士の資格をもった市の職員が行っています。国の公共単価を基本としていますが、物価上昇や人材不足で公共工事の不調が出ていることもあり、国からは、見積もりを取りながら、地域の実情に合った設計を行うようにという通知が来ています。入札については、同じ設計で不落だった場合には業者を入れ替えて入札を行います。設計が変わった場合には、改めて業者設定を検討し、入札条件をつけて募集したいと考えています。
江崎	3	市民生活に密着したものである市道の維持管理について、自治会や農業団体は人手が減っているので、抜本的な方法を市として検討してほしい。	土木課	(土木建築部長) 草刈りなど、地域の皆様には多大なご協力をいただいています。市には1,000kmの市道がありますが、適正な市道の維持管理は全ての地域で課題となっています。今後も、市道、地域的生活道路を守る方法を総合事務所とともに検討していきたいと思っています。個別に問題がある場合には、ご相談ください。
江崎	4	避難所生活が長期間にわたる時のために、入浴施設の整備や衛生面の管理をしてほしい。	防災危機管理課	(総務部長) 平成25年の萩市東部集中豪雨災害の際には、田万川温泉を開放してご利用いただきました。水が出ない場合など、様々な問題があると思いますが、全国的な事例を見ると、自衛隊のご協力により入浴設備を設けているようです。災害の規模にもより、全ての施設に設けることは難しいですが、お気持ちは非常によく分かるので、こういった方法があるか検討していきたいと思ひます。
江崎	5	高齢者の事故が増えており、免許の更新が難しいと言われているので、生活の足を確保してほしい。田万川が合併する前には、タクシー代の助成などもあった。日本版ライドシェアも検討してほしい。交通弱者をなくし、なるべく病死などしないようにしてほしい。特に、生活圏となる益田市に行く場合など、乗り継ぎがある場合が大変である。	高齢者支援課 商工振興課	(福祉部長) 高齢者の移動手段の確保は、市としても重要な課題だと認識しています。生活支援サービスとして、各地域に公用車のハイエースを設置しており、訪問や受診の同行の際に利用いただいています。後期高齢者の方には、100円で公共交通のバスに乗れる「HAGICA」というサービスも実施しています。総合事務所管内で運行している「ぐるっとバス」なども含め、高齢者の足の確保に向けて支援していきたいです。なお、現在の「HAGICA」では、乗り換え後の2本目以降のバス等については支援ができておりません。議員の皆様からも要望を受けているので、今後、交通対策の部局とも調整し、どのようなことができるか検討していきたいと思ひます。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
江崎	6	9月の市議会等では、中核病院の設置や萩医療圏の存続について色々な質問があったと聞いている。田万川地域においてはすぐに影響はないかもしれないが、将来の人口減少や人材確保の点から考えると、萩市全体の医療の問題であり、気になっている。現在どのような状況にあるのか詳しく教えてほしい。	中核病院準備室	(保健部長) 萩医療圏においては、人口減少が大きい課題となっています。加えて、医療従事者が不足しており、大変厳しい状況にあります。課題解決のために、効率的に人材や医療機能を集約して運営していくことを目指し、中核病院を設置していくという方針を掲げています。医療圏の存続については、先般の市議会の特別委員会に関する一部の報道をご覧になられた市民の方から、医療圏がなくなるのではないかとの声もあり、ご不安を与えてしまったことに対し、お詫び申し上げます。現在、萩医療圏の見直し等にかかる具体的な議論はありません。あくまで萩市としては、萩医療圏の医療を存続させるためにも、中核病院形成を実現していく考えです。この考え方は、医師や関係者からなる地域医療構想調整会議にて確認しているものですので、それを目指して取り組んでいきます。
江崎	7	百条委員会において、「忘れた」「わからない」「言えない」などとグレーな発言をされている。市長がやるべきは、一緒に不正を働いた皆さん方に反省を促し、正しい道へ導くことである。税金を払っている市民の皆さんに迷惑をかけたことを謝罪し、今後このような不祥事が起こらないようにしていかなければならないと思う。言えないことがあるから黒塗りが出てきて、明確な答えが出ないのではないのか。責任の所在がわかり、きちんとした処置を取られるのであれば、いつ百条委員会をやめてもいいと思う。ダラダラと隠そうとしているように見える。また、何かあった場合には全て市長が責任をとってくれるのか。市が出資しているので、五分五分の責任を取るということか。漬物の売上が下降していたが、そういったことも鑑みて予定を立てているのか。それから、豊田社長が顧問として残っておられると聞いた。報酬が年間売上の5%と聞いたが、本当か。民間会社なら売上ではなく、利益で決めないとやっていけないのではないのか。	—	(市長) 今言われた方の方が無礼だと思っています。悪いことをした覚えはありません。田万川のブランドのある漬物をなんとか残したい、20人の雇用を守りたい、田万川地域を活性化したい、という思いで、お引き受けしました。不正は全くなく、誤解が誤解を生んでいます。田万川地域のことを思ってやったことであり、悪いことは一つもしておりません。また、(株)たまたがわの内容を教えてくださいと言われるので、黒塗りになっています。第3セクターであるため、出せるものは全て議会でお示ししています。それ以上のことを明らかにすると、会社がやっていけません。 (副市長) 第3セクターは行政が投資している民間会社であり、独立したものですが、税金も投資されているので、市も適切に関与しなければなりません。そのため、取締役会に市の職員も参加し、経営状況を把握するようにしています。情報の公開については、総務省のガイドラインや法律を守って行っています。田万川の地域振興や雇用を守るために、取締役会で諮ったうえで進めていることなので、市長一人だけが良い、悪いという話ではないということをご理解いただきたいです。総務省のガイドラインには、経営が立ち行かなくなった場合には、市が積極的に経営の抜本的な改革に取り組むべきだとあります。また、譲渡については、無条件に受けたわけではなく、漬物部門を維持していけるかどうか見通しをたてたうえで、市長を含めた取締役の中で協議し、判断したと聞いています。顧問料については会社が判断されたことなので、こちらからその良し悪しについて申し上げることはできません。顧問料の支払いはあったと聞いていますが、漬物事業者の社長は5月に顧問を降りられたので、現在はそのような状況にありません。
江崎	8	(株)たまたがわの顧問料が売上に対する5%というのは、誰が決めたのか。社長と2人で決めたのか、取締役を含めた5、6人で決めたのか、はっきりしてほしい。また、「ブランド」というが、誰が言っているのか。そのようなことを私は聞いたことがない。それから、美原議員が、自分の同級生だからという甘い考えでと市長室に連れて行ったことは問題である。	—	(副市長) 顧問料は、役員会、取締役会で決められたと伺っています。ブランドについては、市長の捉え方としては、例えば、「須佐の男命いか」などは「ブランド」とよく言われますが、それらとは違い、地域のイメージとしての「ブランド」を維持していくという解釈です。美原議員のことについてはお答えできる立場にないので、直接話をしてほしいと思います。
江崎	9	地域社会の疲弊とインボイス制度の関係を調査してほしい。地域で個人経営をされている方の中には、インボイス制度の導入により、商売をやめることを考えている方もいる。国の制度ではあるが、地方経済にかなりの影響を与えている。地域社会においては、個人経営の小さなお店がなくなってしまうと地域の疲弊につながってしまう。	課税課	(副市長) 特に中小企業の方々にとって、かなり大変な制度ということは認識しています。どのような対応ができるか考えていきたいです。
江崎	10	前回、道の駅「ゆとりパークたまたがわ」へのゴミ箱設置をお願いし、実現したことを感謝している。しかし、いまだに駐車場には空き缶やたばこのポイ捨てがあり汚いので、再度調査してほしい。	田万川総合事務所	(副市長) 総合事務所の職員が確認をさせていただきます。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質 問 内 容	所 管 部 署	答 弁 内 容
江崎	11	国道191号の持石海岸が荒波や高潮で削られ、国道がなくなっていることをご存知か。私たちにとっては、命の道とも言える。生活圏が益田市になるので、国道がなくなってしまうと遠回りになる。国、県も関わってくるだろうが、どういう風に改修をされているのか明確にしてほしい。	土木課	(上下水道局長) 昨年まで土木建築部長していたので、私から回答させていただきます。持石海岸や人形峠の狭いトンネルなどに危険な箇所があるということで、山陰道の、益田～萩間の早期整備に向けて取り組んでいるところです。国の評価委員会では、山陰道の整備はもちろんのこと、国道191号の危険箇所にも十分注意して維持管理を行うようにという話があり、国もきちんと維持管理すると答弁されていました。ご指摘いただいたことは、こちらから国土交通省にお伝えします。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
小川	1	若い人が長く生活するためにはお金が必要だと思う。今の時代にあったお金を増やす方法があれば教えてほしい。	—	(市長) お金を増やす方法として、株や投資などを勧めることはできないが、誘致した企業に勤務いただくことや、農林水産業においても就農など様々な支援をしているので、就職・就農などで着実に収入を得てほしいと思います。
小川	2	市丸川の浚渫をお願いしたいので、現場を確認してほしい。	土木課	(土木建築部長) 市丸川を含め、各地にある県河川の適正な管理・浚渫を県にお願いしているところですが、現地を確認のうえ引き続き県に要望していきます。
小川	3	田万川総合事務所の職員が少ないのか分からないが、総合事務所に行ったときに一人か二人しかおらず帰ったことがある。事務所内を空にしないようにしてほしい。	田万川総合事務所	(総務部長) 今年度から総合事務所の3つの窓口部門を市民生活部門と産業振興部門の2つにし、できるだけ機動的に動けるようにしたほか、昨年より地域調整監を設置し須佐地域と田万川地域をあわせて、本庁との調整役として設けています。このように、できるだけ限られた人数で地域を担っていく職員を配置していますが、現場の作業等も出てくるとは思うので、所長をはじめ住民の方へ配慮をしていきたいと思っています。 (田万川総合事務所長) 現場や出張、職員の休みなどが重なってしまうと、総合事務所内が少人数になっている時もあります。できるだけそういった状態にならないように職員には調整をするように伝えていますが、来られた際には、帰られずに職員へ声をかけていただけたらご連絡いたします。
小川	4	農業全般について、高齢化による担い手不足で農業をする人が少ない中、国もスマートフォンを入れ、合理化することで、少人数でも農業ができるようにしている。しかし、山口県は中山間地域が全国で1、2位くらいの広い区域で、コストがかかり、今の米価では採算がとれない。市は県に、県は国に要望し、採算がとれるようにしてほしい。	農政課	(農林水産部長) 萩市では、先ほど言われたような過疎化・高齢化が進んでいる中で、中山間直接支払交付金や多面的機能支払交付金の活用方法や地域での課題を解決する方法を、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。小川地域では、現在、中山間地域で初めてスマート農業をするための、圃場の大区画化を考えており、他市の事例をそのまま利用するのではなく、小川地域で生み出した農法とすることで、今後継続していくと考えています。当面は、県・国を通じて事業を進めていくが、それをどう色付けをしていくかは、市と地元の方との知恵出さじょうと思っています。これからこういったスマート農業の取り組みをしていきたいと思っています。そして、採算をとるために、付加価値のある野菜、トマトをつくる園芸作物で、市場で単価がとれる時期に所得を稼ぐことで、維持はできるのではないかと考えています。そして、食料農業農村基本法の改正に基づく各種国庫事業で条件の良い事業が出てくれば、皆さんにご紹介し、活用していきたいと思っています。
小川	5	萩市がジオパークを利用して、龍鱗郷や猿屋の滝を観光地とするならば、県道も整備してほしい。マイクロの観光バスなどが通れるように、また見通しを良くするため、県道の木を伐採し、車が離合できるように拡幅を県に要望してほしい。	土木課	(土木建築部長) これまでも道路の拡幅要望と、道路の維持管理として支障木の伐採を要望しているところですが、今回の意見内容を踏まえて、県へ現地の確認をお願いしながら対応していただけるように要望したいと思います。
小川	6	公共交通機関が不便な東部地域では、市内の高校への通学が困難である。市内の高校に通学する際の助成はあるが、市外に通学する際の助成はなく、どうして同じ萩市の子どもの間に差があるのか。	教育政策課	(副市長) そういった事情や思いを私たちも分かっているが、問題解決は一朝一夕にはいかず、私たち自身も歯がゆい思いはあります。今回お聞きした事情や思いを忘れずに、これからも様々な施策を展開していき、私たち行政だけでなく、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。
小川	7	防長バスがなくなり、子供同士が遊ぶ際に親の送迎が必要である。中学生や高校生も交通弱者であることを知ってほしい。小さい子供への施策は手厚くしていると思うが、小中高生に対する施策がどれだけあるのかなど不安に思っている。	教育政策課	

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
須佐	1	須佐川の上流の唐津川に山口県が設置した砂防ダムがある。この砂防ダムは、10年前の大災害の時に土砂を堰き止め、唐津集落、ひいては須佐地区に大きな被害が出なかった砂防ダムである。災害後に、浚渫をしてきれいな状態に戻したが、また大雨でダムがいっぱいになり、役に立っていない状況である。県の工事だが、浚渫等を関係機関に要望してほしい。また、大規模災害時には、唐津地区はもとより須佐地区に大きな被害を及ぼす恐れがあると思う。唐津地区は谷が急で、大雨の時に土石が普通に流れてくる状況なので、関係機関にお願いする中で検討してほしい。	須佐総合事務所	(須佐総合事務所長) 萩土木建築事務所に問い合わせをしているところです。現場を確認しましたが、砂防ダムは満杯状態であり、写真も合わせて県に情報提供をしているところです。また、萩土木建築事務所からすぐに回答いただけるように要望していきたいと思います。
須佐	2	先日、衆議院議員選挙があり、石破総理大臣は地方創生金を大幅に増やしてくれるような明るい発言をしている。しかしながら、田舎は人口減少で市長も苦しい立場ではないかと思う。来年の市長選挙に田中市長が立候補されるかどうかお聞きしたい。	—	(市長) 今日は市政報告会ですので、そこまで踏み込んでお話をすべきではないというふうに思っています。
須佐	3	本町上の市営住宅は10戸くらい空室があると思う。そこに入居される方の入居基準と、入居時にどのような調査をされるのかお聞きしたい。また、入居された方から町内会費をもらえないことに加え、ゴミの分別もせず、注意するとゴミを川の上に持って行って捨てていると聞いた。そういう人をなぜこの地域の市営住宅に入居させたのか教えてほしい。	建築課	(副市長) 全国的に市営住宅というのは公営住宅の法律に基づいて入居者を決めるということになっています。公営住宅は所得が低い方や、住む場所に困っているということが明らかでないとい入居できません。この2つが主な基準で、その方に関しても最初に応募されたときに、その基準を満たしているかまず確認したいと思います。また、町内会に加盟することは法律で決まっているわけではないので、無理に入れることはできません。しかしながら、市では転居時にチラシ配布などにより、生活するうえで大切な組織である町内会に入っただけのようにお願いをしています。また、ゴミ問題については、転居時に窓口でゴミの分別や方法を一覧表で配布しています。不法投棄などは市に通報していただき、きちんと注意をさせていただきたいと思います。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
弥富	1	県外から移住される人気の町ということで、萩市が全国で2位と聞いたが、萩市に住んでいて、どこが良いのか魅力を感じない。観光客に世界遺産はどこにあるか聞かれ答えたが、どれも跡地ばかりで残念がる。これからもっと若者が萩に残り、県外から多くの方が萩市を訪れるような住みよいまちづくりをお願いしたい。	—	(市長) 世界遺産に認定されたのは、意味があって萩城などを解体したということがあるので、そこを理解いただくと良いと思います。もっと良い面をPRして、若者が住みたい、多くの方が訪れたいと思える萩市にしていきたいです。
弥富	2	「そばの花まつり」に対する補助金が随分減ったと聞いた。なぜ減額されたのか、地元議員に聞いても分からないとのことなので、来年は期待させていただきたい。	須佐総合事務所	(須佐総合事務所長) 補助金が減額された経緯の詳細は分からないが、今年も皆さんの協力があったので、来年の予算を確保したいと思います。
弥富	3	萩の自動車会社に行った際に、萩の様々な特産品が紹介されている子ども向けの本があった。良い本だったので、萩の学校施設や弥富公民館に備えてほしい。	須佐総合事務所	(須佐総合事務所長) どのような本か詳細を改めて教えていただき、対応したいと思います。
弥富	4	須佐総合事務所について、今年は萩の竹笛コンサートも開催され、すごく良かったが、夏は暑く冬はとても寒いので、1階の吹き抜けの天井に蓋をするなどしてほしい。	須佐総合事務所	(須佐総合事務所長) 総合事務所の冷房・暖房は一括管理されており、個別に調整ができない状況です。会議室については、快適に過ごせるようにしていきたいと思います。ロビーコンサートについては、来年1月に二胡の演奏を予定しているのでお越しく下さい。
弥富	5	二級河川上流にある弥富上の河内という集落で、農業用の堰が短い区間にたくさんあり、蛇行しているため、土砂が堆積するので浚渫してほしい。	土木課	(土木建築部長) 現地を確認させていただき、県へ要望をしていきたいです。
弥富	6	弥富地区の市道未改良区間では、福祉関係の車両が頻繁に通行しており、支障をきたす場所がいくつかあるため、どのような問題が発生しているのか、専門性を有する部署の職員に、実態を把握する聞き取り調査を行うように、市長から指示をお願いしたい。弥富地区社協では、セレナで買い物や通院支援をしており、狭い道路では女性が利用者の自宅まで行くことが難しいなど地区社協の理事会の中での意見がでていいる。その際は、事故が起きた際の協定などはないが、萩市社会福祉事業団やまびこが所有している小型車両を、燃料代を支払うことで使用している。その他にも、弥富診療所を利用する患者から、終点には車まわしができないため、狭い場所で何度もハンドルの切り回しをする必要があると聞いている。	須佐総合事務所 土木課	(市長) 市道に関することは、土木課や農林水産整備課に現場を確認させ、回答させていただきます。 (土木建築部長) 現地を総合事務所とともに確認のうえ、こういった対応ができるか検討させていただきます。
弥富	7	市道未改良区間に接近して建っている倉庫などを含む老朽化建物について、萩市単独の事業として補助してもらえないか。その際の条件としては、道路幅員の拡幅に必要な用地の提供並びに、その後の更地での建設行為や建物等の位置、構造を規制するという条件で、個別の案件ごとの対応とすれば、道路の幅員の確保や市道の回復、道路利用者や道路管理者、また地権者と双方のメリットがあるのではないかと聞いている。老朽化建物を放置した状態では、何年か先には家主もいなくなったり、台風や地震などで建物が倒壊した場合に、市道の通行を阻害することとなれば、公費で撤去することになり、誰にもメリットがないと思われる。	須佐総合事務所 建築課	(土木建築部長) 道路沿いにある老朽危険空き家については、萩市で除却する補助金制度を設けています。所有者の方が分からないと難しいので、総合事務所をはじめご相談いただきたいと思っています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質 問 内 容	所 管 部 署	答 弁 内 容
弥富	8	須佐・田万川地域には、建設会社が3社ほどあるが、山陰道の附帯工事を元請あるいは、自由に参入できる機会や、工事発注の工夫などを国や県に働きかける必要があると思う。工期内の完成や建設会社の意向など課題はあると思うが、市長はどのようなお考えをお持ちか。	土木課	(市長) 浜田国道事務所と広島の国道整備事務所に、山陰道を整備する際は地元の業者を使ってほしいとお願いし、できるだけ活用したいと回答をいただいています。
弥富	9	ジオパークの猿屋の滝について、草や木で見えなくなっている。高所で作業できる機械も色々あると思うので、きれいにしてほしい。	ジオパーク推進課	(市長) 森林組合に何度かお願いをしているが、難しく危険な場所のため、対応方法を検討しているところです。
弥富	10	県道306号沿いの竹について、よく垂れ下がっている。これからの季節は雪でさらに垂れ下がるので対応してほしい。	土木課	(市長) 県道については、市から県へ強く要望していきたいと思います。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
むつみ	1	市長の説明の中で、高齢者について触れられていなかった。	企画政策課	(市長) 買い物支援のための移動販売車など、さまざまな取り組みを進めておりますが、今回の説明で言及しなかったことについては、大変申し訳なく思います。
むつみ	2	家族が入院した際の対応が悪かった。	福祉部	(市長) 職員には、市役所に来られる方は様々な悩みや問題を抱えていらっしゃるため、とにかく最後までお話を聞き、「市役所に来てよかった」と笑顔で帰っていただくように、と絶えず指導しています。今回ご経験されたことは真逆のことであり、大変申し訳なく思います。私自身も反省し、職員の指導にあたりたいと思います。
むつみ	3	むつみB&G海洋センターの照明が半分以上切れているので、早く修理してほしい。	むつみ総合事務所	(むつみ総合事務所長) アリーナは今年度、事務室やミーティングルームは来年度以降の改修を予定しています。しばらくお待ちいただきたいと思います。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
明木	1	蔵屋の入口に高齢者が安心して渡れるように信号機を設置してほしい。蔵屋の入口には横断歩道があり、高齢者が渡ろうとしても止まる車が少なく、非常に危険な目に遭ったという話を聞く。3年前に萩警察署長に明木駐在所を通して要望をしたが、3年経っても返答がないので、萩市からもお願いしていただきたい。	土木課	(土木建築部長) 現状を確認しながら、要望書を出された経緯あるので、山口県公安委員会に確認させていただきます。
明木	2	旭中学の部活のことですが、来年の8月で全部なくなるというふうに聞いている。先生の部活に対する負担が多いというので、今年8月から部活が週3回になり、陸上部については、既に萩市全体で一本化されているというふうに聞いている。先生のことを考えれば、確かに大変な負担になっているので、部活をなくして本来の教育学習ができるようにしたいといけませんが、生徒とその保護者はどうしたらいいのか、全体的な現状でもいいし、新学期に限ってでもいいので将来どうなるのか教えてほしい。	学校教育課	(教育長) 現在、子どもたちのスポーツあるいは文化芸術活動と選択肢を拡大していく作業を、文化芸術団体やスポーツ団体と折衝しながら進めています。スポーツ少年団に中学生の受け入れを、お願いしたり、卓球については、令和7年4月から県のスポーツ少年団などが中学生の受け入れをするという状態ではなく、バドミントンは団体とも調整しているところです。かつてのような学校で部活動をするという状態ではなく、地域の方で指導ができるクラブに、子どもたちが選択し、スポーツ活動あるいは文化芸術活動をする方向性で準備を進めているところです。
明木	3	旧明木診療所が何も活用されない状態になっており、地区の人間からは建物を貸してもらえないだろうかとか、何か地域でコミュニケーションをとれる場所に出来ないだろうかという話を聞いている。この件について、ご検討をお願いしたい。	旭総合事務所 地域医療推進課	(副市長) 地域事業懇話会という地域の方で、どのような事業をやっていくか、あるいはどういうまちづくりを進めていくか、というようなお話をされていると思います。そういった場で使っていない施設があれば、皆さんで話し合っていて、こういうふうに使いたいというご意見をいただけたらと思います。
明木	4	下横瀬公民館の説明看板が老朽化しているので、新しくしてほしい。また、道路側や建物の看板もきれいにしたら観光客の方も建物に入りやすいと思う。	旭総合事務所	(副市長) 下横瀬の公民館は国の登録文化財になっており、地区の所有だと認識しています。そのため、基本的には地元の方で実施していただくことになろうかと思いますが、何か困難なことがあれば、お知らせいただきたいです。大変貴重なもので、私も私どもとしても、これが先々までずっと使われながら保存をされていくことが一番必要かと思っています。
明木	5	旭マルチメディアセンターの和式トイレに手すりがついているが、高齢者の方が使う時には不便なため、洋式トイレに変更してほしい。	旭総合事務所	(副市長) 旭マルチメディアセンターは避難所として使われており、洋式化していく必要があります。そのため、予算要望をしていますが、他の施設でも洋式化という課題があります。現状は予算を削減するという状況のため、確実に令和7年度にできるということは断言できませんが、例えば計画的に実施するなど検討していきたいと思っています。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
佐々並	1	10～11月は、萩往還を歩かれる方が大変多くなっており、国道262号沿いを歩く際に、通行車両がかなりのスピードで走っているため、怖い思いをしたと言われる。狭いところは草が歩道を覆い、道幅が30cmぐらいしかないところもあり、草を刈れば1m以上になるところも多い。また、学校の先生からは、小学生が佐々並から新ノ切まで遠足で萩往還を歩き、国道で子供たちの列に車が接触しないか心配されたというお話も聞いた。萩往還は歴史的にも観光資源としても大切な資源なので、皆さんが安全に歩くことができるように検討をお願いしたい。	文化財保護課	(副市長) 萩往還は全体的には綺麗にされているが、いくつかの場所では猪が掘ったり、雨水等で掘削された穴があり、つまずいたりすることもあると思います。また、手すりが腐りかけていたということもあり、これらの箇所は文化財保護課等に伝え、対応するようにしてきました。今回お聞きした安全通行についても、担当部署には伝えてはいるが、道路をすぐに整備することも難しく、どういったことができるか、改めて国道の管理者または車の安全運転を促すなど検討してみたいと思います。
佐々並	2	佐々並の伝建地区における電柱の地中化と、道路のカラー舗装の進捗状況について教えていただきたい。	文化財保護課	(副市長) 費用面での問題と、地中化の手法について、費用対効果の面も含めて現在検討しているところです。また、国からどういった補助金が得られるのかということも含めて、現在、内部で協議をしており、手法については、文化庁からどういったやり方がこの佐々並地区に合っているのか、あるいは補助メニューによっては計画を作成する必要もあるので、現在、研究をしている状況です。
佐々並	3	佐々並支所へ向かう際にある信号機の待ち時間が非常に長く、待ちきれない人は、道の駅前から道路を横断する人もいるため、大きな交通事故になる可能性がある。信号の待ち時間が正常かどうか一度調べてほしい。故障であれば修理をしてほしい。	旭総合事務所	(旭総合事務所長) 9月に佐々並駐在所との連絡協議会を開催しており、同様の質問がありました。現在、佐々並駐在所長から萩警察署の交通課に要望をあげており、その結果が公安委員会を通じて来る予定なので、佐々並地区の皆さんに結果を報告させていただきます。
			佐々並支所	
佐々並	4	ガスボンベやライターなどの処理をお願いしたい。ガスが少し残っており、ガスを抜く処理が難しく危険なため、お願いしたい。	佐々並支所	(副市長) 佐々並支所長などがお伺いし、改めてお話を聞かせていただきます。

令和6年度 市政報告会 意見・要望等一覧表

地域	No.	質問内容	所管部署	答弁内容
福栄	1	竹林の繁茂対策について、県の森林部に県民税を利用した事業があるが、市の窓口でも受付してもらえるとよい。決定するのは県の仕事かもしれないが、市の総合事務所や支所でも申込できると行きやすい。	林政課	(農林水産部長) 令和6年度から、市では森林環境税を徴収することになっており、県ではやまぐち森林づくり県民税という独自の県民税を徴収しながら、森林の整備を行っています。竹林繁茂に着目した事業は、県民税を活用するものであり、県の事務所でないと対応できないということで、ご迷惑をおかけしています。できるだけ皆様にご足労いただかなくて済む方法を検討し、お知らせしたいと思います。
福栄	2	中核病院の計画がなかなか進まないようだが、中核病院を作っても二次救急までしかできないのであれば、今あるところを拡充すれば、嫌がる場所と合併する必要もないのではないか。現市長が就任されて、中核病院の検討委員会も変更されたが、メンバーを刷新しないと良い答えが出ないのではないか。市民病院も3億の赤字が出ているようであれば、中核病院などもってのほかである。市民病院が黒字になるように運営すべきである。病院は独立採算であるため、院長の経営責任もあると思うので、議会でしっかり確かめていただき、病院予算をしっかり審査してほしい。二次救急を行う二つの病院を、市はしっかり応援して経営が成り立つようにしていけば、中核病院を作る必要はないのではないか。	中核病院準備室	(副市長) 市内で三次医療と呼ばれる先進、高度医療が受けられれば一番良いですが、三次医療は県全体を医療圏とする枠組みで考えられており、三次医療を萩医療圏で行うことは難しいものと思われま。心臓疾患や脳疾患などの救急患者を受け入れ、必要な処置を行うことができる体制をしっかりと存続させることが二次医療圏の役割です。萩医療圏では市民病院であれば心疾患、都志見病院であればがんなど、それぞれの病院に専門分野が分散しているのが現状です。全国的に医師が不足していることもあり、今後、大学などからの医師派遣も難しくなってくるのが予想されることから、中核病院をつくり、効率的な体制とすることで救急医療体制などが維持できるように進めていきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。
福栄	3	中核病院について、2つの病院が1つになるということは、負債が0になって一緒になるということでしょうか。市長は、市は明日にでも印鑑を押す準備ができているとおっしゃっているということは、もう一方の病院はそれができないということか。	中核病院準備室	(副市長) 基本合意に至っていない理由について、協議中でありますので、踏み込んだお話ができないという状況をご承知いただきたいと思えます。病院統合については、萩市がもう一方の病院の事業を譲り受けるということになるので、病院の資産価値などを計算して判断することになりますが、市が相手方の病院事業を譲り受ける際に負債を引き継ぐということは考えていません。医療法人が病院事業を譲渡した後、法人解散の手続きの際に、負債も含め法人が所有するすべての資産を清算することになるものと考えます。
福栄	4	選択的夫婦別姓について、先日、共同通信が全国の知事、市区町村長に対してアンケートを行っており、萩市は「どちらかといえば賛成」とお答えになっていたが、なぜか。私は反対である。国会の議論も進んでいないのに、賛成と言われるのはどういうことか。	市民活動推進課	(市民部長) 一般的な社会情勢がそちらに傾いていることと、名字を変えると社会的なキャリアが崩れてしまうという女性の意見を考慮して判断しました。今後も皆さんの意見を聞きながら対応していくことになると思います。